



向上無限

生徒一人ひとりの可能性は∞無限大



学校便り
校長 仲盛康治
『心一つに』
『誰かの笑顔のために』
『明日が待ち遠しい学会』

今年も半年が過ぎました。この詩は、3月の卒業式、4月の入学式のテーマ詩。本校の坂道「夢現坂」をモチーフに一人一人のスタートラインをイメージ。今年一番の感動をありがとう！

新たな思いをのせた春風が
坂道に吹く
やわらかな春の陽が
坂道を照らす

今 始まる 君の冒険
さあ スタートラインに並び
共に踏み出そう

春風は
君を坂の向こうへとつれていく
のぼった先には
君にしか見えない
輝く未来が待っている

回り道したっていい
きつそこには
新たな発見があるだろう
寄り道したっていい
きつと新しい自分に出会えるだろう

坂道は 聞いている
僕らの力強い足音を
坂道は 知っている
僕らのくやし涙を
そして 坂道は見つめている
駆けのぼっていく僕らを

さあ 共に踏み出そう
自分を信じて 未来を信じて
スタートラインは 夢現坂
今 踏み出そう 未来へつづく 第一歩

詩：又吉祐太 上原おと
テーマ 玉城結々



2022年の夢現坂



1974年の坂道(現夢現坂)

ブラナカモリ

「ブラタモリ」タモリさんがブラブラ歩きながらその街の歴史や暮らし出来事やいろいろな所に残された痕跡から、その地域の魅力や歴史・文化などを再発見する番組。

「ブラナカモリ」は、城北中の謎を解き明かせ！のもと校長の仲盛が城北中の生徒や教職員、保護者や卒業生、地域関係者の協力を得て創立50周年を迎える本校の歴史やエピソードを探っていくプロジェクト！

1974年4月に首里中学校生徒の増加に伴い、城北中が誕生した。最初は3年生がプレハブ校舎、1,2年生はその校舎ができるまで首里中学校で授業。

7月14日、首里中学校体育館で分離式が行われ代表の生徒があいさつの中で「別れは挑戦である！」と言ったとのこと(10周年記念誌 座談会で初代神村校長より)

2021年、新たな情報が！！
なんと3期生の與儀睦美さん(現61歳)より、正しくは、「さよならは首里中への挑戦である！」と情報が入りました。
当時の先生、奥平一さんがその頃の記録を持っていらっしやるらしい！

とで反対してきました。でも、子供が
このように言いますし、また、移ってきて
先生方は地域に溶け込もうと努力するし、
地域も自分達の学校をよくしようとして一生懸命
命になっていましたから、結局、城北中に
移ってきて本当によかったと思っていると
ころなんです。

神村校長 いまの伊狩さんの話を聞いて
思い出したんですが、一、二年生が首里中
に別かれを告げる分離式の中でですね、城
北中の代表があいさつの中で「別れは挑戦
である」といったんです。この言葉を聞いて
皆はふるい立ちましたね。首里中何する
ものぞの心意気ですよ。

伊狩前副会長 あの言葉は自然に出てき
た本心だったと思いますね。何しろ、学校
は整備されてないし、備品もない。先生方
は首里中に行ったりこちらに来たりで大変